

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 12 月 12 日作成)

小委員会名	耐震設計における地震荷重検討小委員会		主 査 名：石井 透 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：高田毅士
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	荷重指針改定に向け、一般構造物を対象にした耐震設計において、より合理的な地震荷重（設計用地震動を含む）の枠組みを構築するために、特に、地震動予測地図の活用、設計用地震動設定の方法、建築・土木共通の地震荷重の枠組みの在り方等を検討する。また、用途係数（重要度係数）の検討も実施する。 ・2011～2012 年度：荷重指針 7 章地震荷重の改定原稿の作成・校正 ・2013～2014 年度：将来の性能設計に用いる地震荷重の在り方検討		
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：無		
	主査：石井 透（清水建設） 幹事：糸井達哉（東大）、松島信一（京都大） 委員：石山祐二（NewsT 研究所）、井上 超（安藤・間）、曾田五月也（早稲田大）、高田毅士（東大）、田中浩平（鉄道総研）、田村良一（新潟工科大）、恒川裕史（竹中工務店）、藤堂正喜（大崎総研）、中村博一（フォーラムエイト）、林 康裕（京都大）、平松昌子（大成建設）、福島誠一郎（リスク工学研）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2014 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 建築物荷重指針・同解説（荷重運営委員会傘下 7 小委員会で共同）
講習会	1. 2014 年度日本建築学会支部共通事業「建築物荷重指針」改定講習会 (荷重運営委員会傘下 7 小委員会で共同) 参加者数 1,114 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 政府の地震調査研究推進本部地震調査委員会の部会やWGに対し、本会の荷重指針の意義を説明すると共に、最新の知見とデータに基づく地震ハザード評価結果を荷重指針に活用出来る形でまとめて頂けるように提案・交渉した。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 設置目的に掲げた内容は順調に推進された。 2. 荷重運営委員会による荷重指針改定作業全般が当初予定よりもやや遅れたため、当小委員会の検討工程もそれに応じて修正された。
委員会活動の問題点・課題	1. 10 年後を目指した長期的かつ更に広い視野に立った検討に着手したい。 2. 地震荷重に関係する他の小委員会との連携も継続・発展させたい。 3. 機会をとらえて国際的な議論の場への発信を進めていきたい。